

経営比較分析表（令和3年度決算）

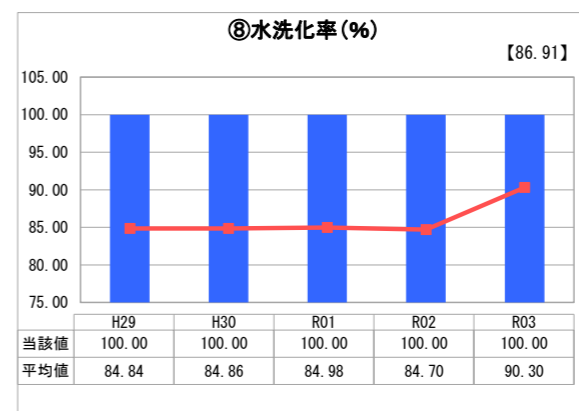
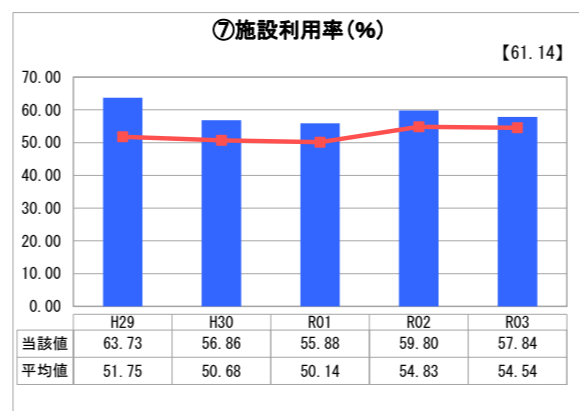
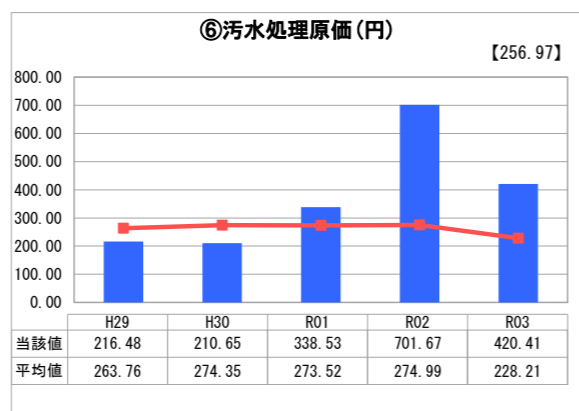
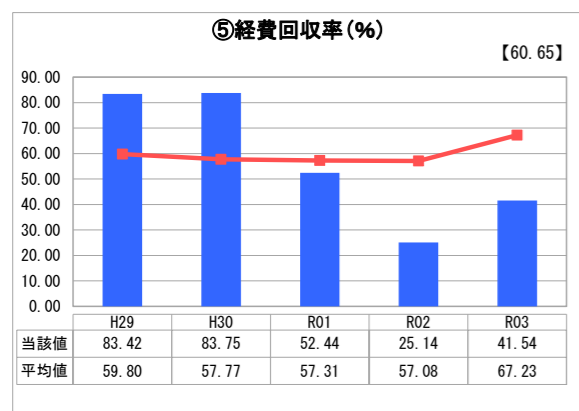
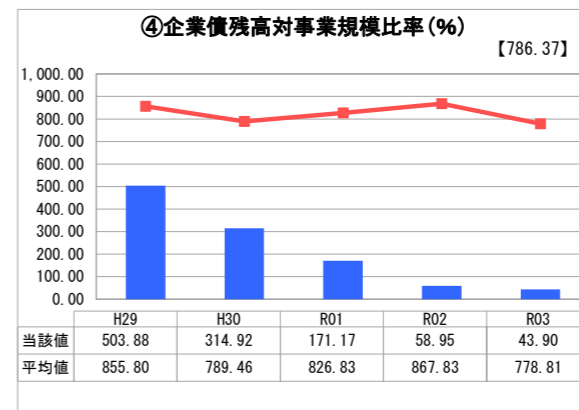
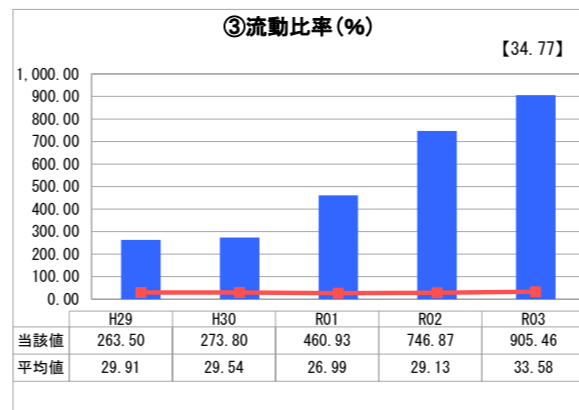
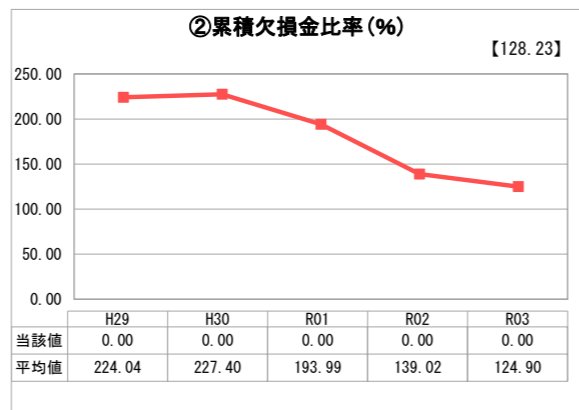
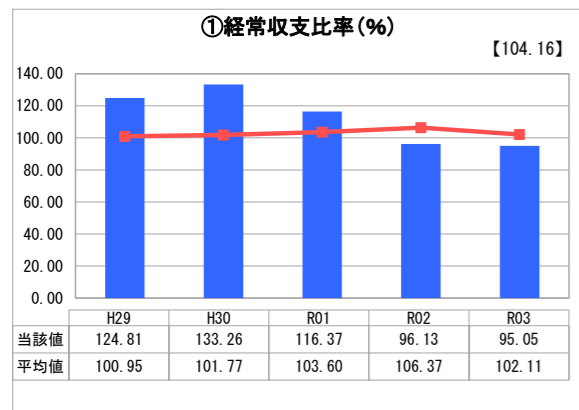
山形県 南陽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	97.07	0.67	80.25	3,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,295	160.52	188.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
201	0.15	1,340.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水事業は、①経常収支比率②累積欠損金比率に示すとおり、経営状況は一見良好ですが、経常収益に一般会計からの繰入金を含むことから、繰入金を含まない営業収支だけを見れば、使用料収入（営業収入）では経費（営業費用）を賅っていません。令和2年度をもって施設建設に要した企業債の償還が完了しています。このため、③流動比率は類似団体と比べて高く、④企業債残高対事業規模比率も類似団体の値を大幅に下回っています。本事業は、令和5年度末を目途に、管路を公共下水道に接続し、公共下水道事業に編入する計画です。現在、事前の管路点検と不良個所の修繕を進めており、このため、⑤経費回収率費用および⑥汚水処理原価について、それぞれの分母・分子となっている汚水処理費に含まれる費用が増加していることから、数値の増減が生じています。

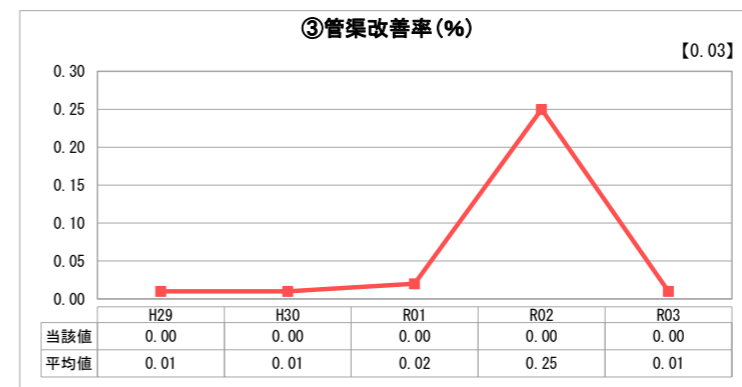
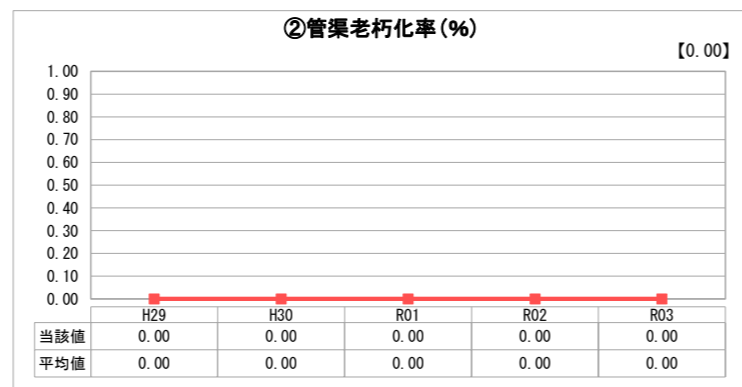
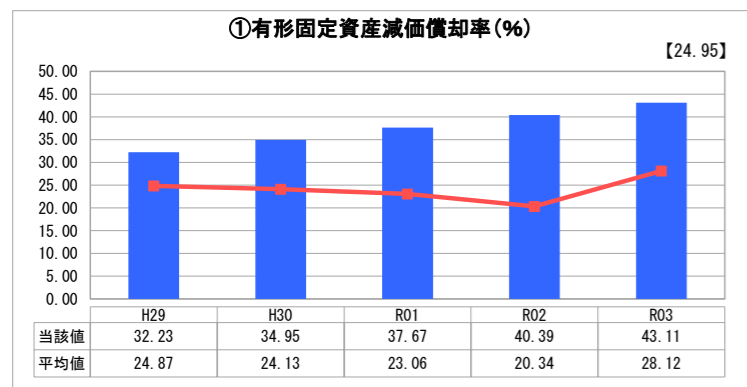
2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設は平成3年の供用開始から30年が経過し、汚水処理施設の老朽化が進んでいます。一方、利用者人口は減少傾向で推移していることから、処理施設を単独で将来にわたり維持し続けるよりも、公共下水道に接続して処理した方が低コストで持続可能であると判断し、接続のための準備を進めています。公共下水道への接続後、管路は下水道に編入して維持管理を行い、汚水処理施設は運用を終える予定です。

全体総括

農業集落排水施設は、経費節減に努めつつ、一般会計からの繰入を受けて、公共下水道事業編入に向けた管路補修等の準備を進めます。公共下水道編入後、農業集落排水事業は廃止となります。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。